



<施設の概要>
 所在地: 広島県広島市中区舟入南1丁目4-4
 敷地面積: 27,574.00m²
 建築面積: 7,314.14m²
 延床面積: 18,153.49m²
 施工: 建築/戸田・日産・湯川建設工事 共同企業体
 電気/東プラ・エビス建設工事 共同企業体
 設計: 広島市都市計画局建築部営繕課・設備課

21世紀に向けた魅力ある学校を演出する照明

Lighting is designed to appeal students looking into 21st century

出会いと交流の空間づくり、親しみのあるヒューマンな学校づくりがコンセプト

Lighting concept is to create a space for students to meet and associate in their school lives, keeping humane touches in illumination

広島市立舟入高等学校は、広島市高等女学校を前身とする歴史ある学校で、昭和24年に統合制・学区制・共学制の高等学校として設置されました。平成10年4月には体育館、柔道場、プール等一部を残し、学校運営を継続しながら老朽化した既設校舎全てを撤去し、「21世紀に向けた魅力ある学校づくり」をテーマに改築されました。

アトリウムはトブライトを設け並木を配するなど魅力ある外部空間の「核」づくりが行われ、学校におけるアメニティスペースとして生徒の憩いの場、さらにアクティビティの高いイベント空間となっています。

照明は自然光に近い白色光源のHQI 150Wランプを使用した耐蝕性に優れたアルミダイカスト製の小形投光器を上部に設置して空間照明を演出し、下部には不快なグレアをカットしたブラケット(MR 70W)で足元を照明しています。

視聴覚室には様々なAV設備とそれを自在に操作できるコントロールスイッチが完備され、テレビ、ビデオプロジェクターなどを通して多種多様な教材を生徒に視覚させることのできるシステムが導入されています。

照明はFL40W 2灯用埋込OALルーバー付器具を採用し、機器画面への映り込みが少なく、集中して学習できる空間をつくり出しています。

ミニコンサートや催し物などに使用される国際コミュニケーションホールの照明は、柔らかな光空間をつくり出すため、FL40W 3灯用間接照明器具を採用しています。また、外周部にはIL 60Wダウンライトを設置して、スクリーン映写時に調光制御できるようにしています。

照明コンセプト

Lighting design concept

アトリウムでは出会いと交流の空間づくりを、照明でより効果的に演出。

親しみのあるヒューマンな光空間を創出。



視聴覚室 40W蛍光灯2灯用埋込OALルーバー付器具を使用し、機器画面の映り込みを防止している。
Audio-visual room



国際コミュニケーションホール International Communication Hall
40W蛍光灯3灯用間接照明器具を採用。柔らかな光空間を創出している。



アトリウム HQI小形投光器を上部に設置し、空間照明を演出。下部にはブラケットを配置し、足元を照明。
Atrium

主要照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
視聴覚室	FL 2灯用埋込器具(OALルーバー付)	PR 42556K	20	40W蛍光灯×2
	ILダウンライト	ID 7081W	14	60W白熱灯
国際コミュニケーションホール	FL 3灯用間接照明器具	特注品	25	40W蛍光灯×3
	ILダウンライト	SD 7701W, ID 7286W	25	60W白熱灯
アトリウム	HQI小形投光器	MT 1533MF(K)	14	150WHQI
	MRブラケット	BH 0705K指定色	5	70Wネオアークビーム